

SAKASO

「さかそう」

ご自由にお持ちください

特集 先生に聞いてみよう

術前外来のこと。



2022.8 Vol.55

お知らせ

「まなぶる」で、職員の学びを支えます

人財育成センター「まなぶる」とは？

学びによって職員一人ひとりの成長を支援することを目的に、2021年に立ち上げた組織です。「学ぶ+able（～できる）」が、名称の由来となりました。

ロゴに込めた想い

イメージはたくさんの花びらが重なり合って咲き誇る花の姿。社会人として多くの知識・技術を積み重ね、地域に貢献できるような職員を育みたいという願いを込めて作成しました。



坂総合病院の大きな目標に近づくために

当院は「職員が活き活きと働く病院」を大きな目標のひとつに掲げています。昨年度、院内では把握できているだけで379回もの学習会が実施されました。今後は学習の質を向上させる仕組みづくりによって、仕事のやりがい醸成や、人に寄り添う医療の実践に寄与していきたいと考えています。



診療予約・変更・お問合せ

まずはコールセンターへお電話いただき
ご確認をお願いいたします。

コールセンター 022-361-8288

- 平日 8:30～16:30（小児科のみ8:00～）
- 土曜 8:30～11:30（小児科のみ8:00～）

※日曜・祝祭日、年末年始（12/30～翌年1/3）、8/16（お盆）は休業。

- ◎紹介状をお持ちの方は、必ずその旨をお伝えください。
- ◎上記時間以外で救急診療のお問合せは、病院代表番号（022-365-5175）にお電話をお願いします。

詳細はwebサイトでもご確認いただけます。

坂病院 🔍 検索 <https://www.m-kousei.com/saka/>

表紙について

生チョコづくりが趣味の近藤先生が、「行ってみたかった」というチョコレート専門店へ。撮影中、代表の渡辺誠二さんと笑顔で話す様子が印象的でした。

●表紙撮影／チョコレート工房 クレオバンテール



電車の場合 ▶ JR仙石線・下馬駅下車。駅前が当病院です。

お車の場合 ▶ 第三駐車場は、当院ご利用の方は無料です。第三駐車場と病院間の送迎バスを運行しています。

SAKASO

坂総合病院 広報誌「さかそう」
2022年8月1日発行

公益財団法人宮城厚生協会
坂総合病院

〒985-8506 宮城県塩釜市錦町16-5 <https://www.m-kousei.com/saka/>
【広報誌に関するお問合せ】Tel 022-365-5175（代）



.....
毎回特集内容を変え、
病気や病院のあれこれを発信。
今回は、「術前外来」について
ご紹介します。

特集

先生に
聞いてみよう

術前外来 のこと。

Q 患者さんの“全身状態を診る”とは、
具体的にどんなことをするのですか？

例えば「声がかれている」「息切れしている」といった患者さんの姿を見て判断できることもあります。全身を診るためには臓器系統別の問診・診察・検査が不可欠です。アルファベット順にチェック項目があり、AはAirway（気道）、BはBreathing（呼吸）、CはCirculation（循環）など、10以上の項目を検討します。また、タバコなどの生活習慣や持病の有無・服用している薬など患者さんからのヒアリングも大切な情報源です。

Q 患者さんそれぞれに合った麻酔方法は、
どのようにして決まるのでしょうか？

麻酔には全身麻酔と局所麻酔というふたつの柱があり、それぞれを単独で行う場合と併用する場合があります。全身麻酔では眠るため・痛みをとるため・筋肉を弛緩させるためなど種々の薬を組み合わせるので方法は何通りにもなります。ですから麻酔方法は、患者さんの手術内容・手術時間・手術部位、身長・体重・年齢・健康状態・術前検査などから“全身状態を診て”、麻酔科医が患者さんにとってベストな麻酔方法を選び取っていくのです。

術前の不安や心配にも 誠実に応えていきたい

麻酔科医は、手術中やその後で患者さんの全身状態を良好にするために最善を尽くす専門医です。一人ひとりに適した麻酔方法を提案し、説明する。そして投与後は、眠りや痛み、呼吸や心拍を注意深く管理するのが仕事です。そんな我々が担当するのが「術前外来」。手術を控えた患者さんの状態を確認すること、術前検査の確認、不安の緩和を主な目的に2021年4月に設立されました。まだ耳馴染みがないためか「術前外来とは？」という声を耳にしますが、手術を目前に心配や不安を抱えた患者さんやその家族に対して麻酔についての説明が直接できる場所。だからこそ私は、常に誠実な対応を心がけています。

安全な手術のために お手伝いできることを

昨今、高齢化に伴い持病を抱える人や合併症を患う人が増え

塩釜市を中心に地域の医療を支える坂総合病院。適切な治療と高度な技術で人々を支えています。今回は、患者さんのより安全な手術のために創設された、「術前外来」について聞きました。

近藤 紀子（こんどう のりこ）

東京都出身。山形大学卒業後、坂総合病院に入職。小学生の頃に入院中の祖父を看病したことで医師の道を志す。麻酔科医を目指したのは、研修医時代に全身管理の奥深さに魅せられたことがきっかけ。趣味は家庭でできる簡単でおいしいお菓子づくり。

できました。そのため手術では患者さんの状態をより見極めた麻酔の投与が求められるようになりました。手術前は恐怖を感じることがあるかもしれませんが、しかし「術前外来」を通して、麻酔科医が安全に手術を乗り越えるお手伝いをしていることを伝えたい。そして病気の不安や心配事に丁寧な答えをいききたいと思っています。いつか、麻酔科医はみんなが体調よく過ごせるように手伝ってくれる存在と多くのの人に知ってもらえたらうれしいです。



手術を受ける患者さんについて、看護師とともにリストを確認する近藤先生。医師や看護師にも誠実な対応を大切にしているという

おしえて
先生

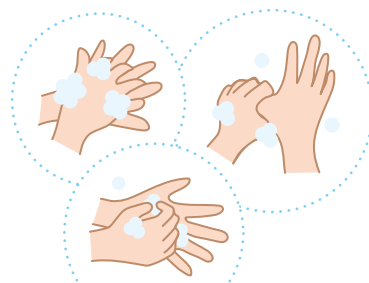


#13 手指の汚れを残さないために

高山 綾子 (たかやま あやこ) / 感染制御実践看護師

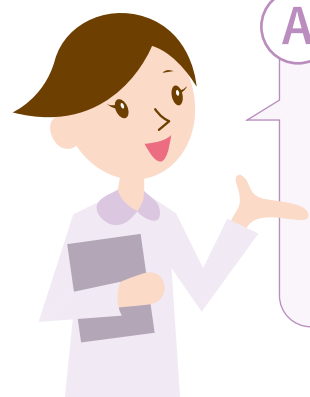
Q

石鹸を使い手指の汚れをしっかりと洗い流すことを意識していますが、洗い残しを少なくするコツはありますか？



A

手は複雑な形をしている上にしわが多く、洗い残しが出やすい部位です。特に指先、指の間、親指は洗い残しが多くなると言われています。ものを触ったり掴んだりする時に利き手を使うことが多いですが、人は利き手で反対の手をよく洗う習慣があるそうです。そのため利き手をキレイにするように心がけると、洗い残しの少ない手指衛生を保つことにつながります。



栄養手帖 ■■ -食養室だより-

食事の基本をマスターしよう

「主食・主菜・副菜・汁物」を揃えた食事をとりましょう。様々な食品の組合せで、必要な栄養素をバランスよく摂取できます。

副 菜

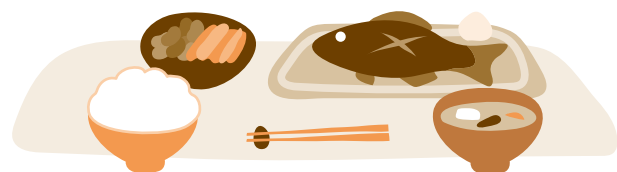
体の調子を整える

野菜、キノコ、海藻を中心に
たっぷり!

主 菜

血や肉、骨づくりを助ける

肉、魚、卵、大豆製品などを
中心に適量を摂ろう



主 食

エネルギーの供給源

ごはん、パン、麺類など、おか
ずと調和する食品

汁 物

消化吸収の効率アップ

副菜では足りない栄養素を
補う(塩分量に注意!)

栄養アップ! おにぎりレシピ

ひと工夫加えるだけで、カルシウムとタンパク質が豊富なおにぎりに

材 料

ご飯、かつお節、ちりめんじゃこ、醤油

つ くり 方

- ①かつお節に醤油を加え混ぜておく
- ②ご飯に①とちりめんじゃこを混ぜて握る

支えるひとたち

第27回 宮城厚生協会 事務部 情報管理課

坂総合病院を、そして患者さんを支える人々。その「人となり」に迫ります。

大学で情報学を学んだのちIT業界に就職。そこから育児期間を経て「外からではなく中から医療を支えたい」と医療業界へ飛び込んだ境さん。担当範囲は広く、坂総合病院を含む宮城厚生協会全体を管理。パソコンやプリンターの操作対応から、インフラ及びシステムの運用まで、宮城厚生協会に欠かせない存在として活躍中です。

実は2022年4月に入職したばかり。仕事では緊急を要する場面でも依頼者のニーズを的確に聞き取り、まずは現場に足を運んで依頼者とコミュニケーションを取りながら行き違いをなくすことを心がけているといいます。「医療の最前線に立つスタッフが患者さんによりよい医療を提供できるように支えたい。そして職員全員が幸せを感じられる職場づくりに貢献したいです」という目標も教えてくれました。

次号は

〈患者様相談室〉
川村 淳二



デスクワークが多い中で手放せないのは、飲み物やアロマグッズなどの癒しアイテム。ノートやタブレットも欠かせない仕事道具です。



境 望 (さかい のぞみ)
宮城厚生協会 事務部 情報管理課

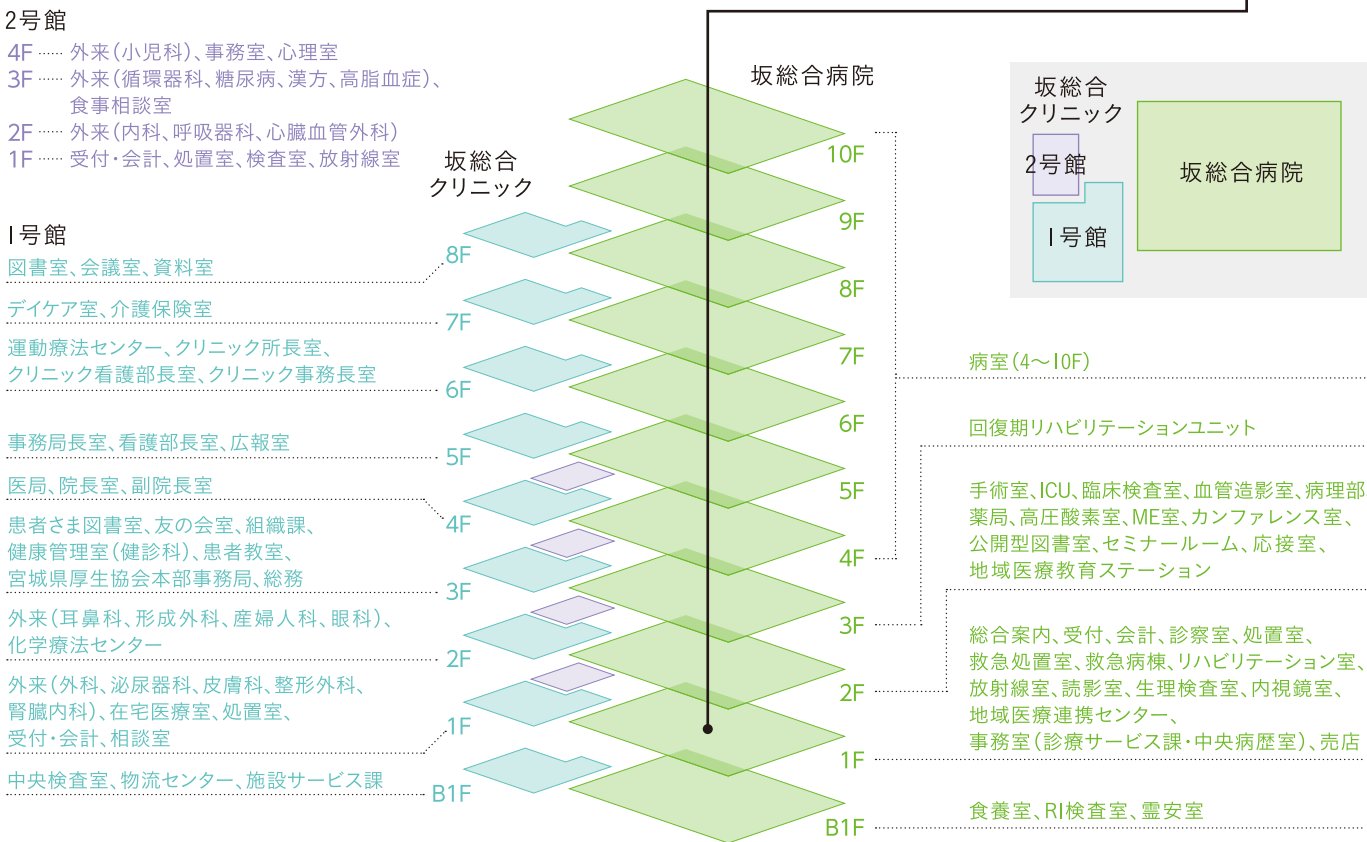
車塚 美貴 (くるまづか みぎ) 師長

紹介外来エリア、脳神経外科・リハビリ外来エリアを担当する病院外来。消化器、循環器、呼吸器、糖代謝科などの多くの診療科を担っています。当院には開業医の先生からの紹介や定期通院、塩釜市近隣の市町村二次検診などでも多くの人が来院します。その中で私たちは問診・指示受け・検査説明を担当しますが、説明する検査の種類も多く、また高



齢の患者さんが多いため、わかりやすく丁寧な対応が求められます。心がけているのは、患者さんの不安な気持ちを少しでも解消し、安心して受診できるようにサポートする事。そのため、様々な疾患の患者さんに対応できるように専門の学習会への参加やインターネットでの自己学習を行い、さらに週に1〜2回スタッフ間で情報共有の時間を作り、接遇面や待ち時間対策を検討するなど、より良い医療を提供できるように努めています。

現在、診療報酬改定やコロナ禍が拍車を掛け、更なる受診抑制が起きています。「外来は病院の窓口」と言われる中、私たちは誰もが平等に医療を受けられるよう、そして切れ目のない医療を提供できるよう他職種と連携し、皆さまが受診しやすい外来であるように頑張ります。来院の際、不明な点は気軽に声を掛けてください。



安全な画像診断で、検査のハードルを低く

連携医のご紹介
くろさわ脳外科
画像診断クリニック
[脳外科]



院長
黒沢 久三 先生
(くろさわ きゅうぞう)



脳外科
くろさわ脳外科画像診断
クリニック

〒985-0024 宮城県塩竈市錦町6-32
TEL・FAX 022-366-9638
URL <https://www.kurosawa-nougeka.com/>
(予約) <https://tol-app.jp/s/kuroclinic>

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00 - 12:00	○	○	◎	○	○	○	★
14:00 - 17:30	○	○	△	○	○	△	★

休診日／第1・3・5日曜、第2・4水曜、祝日
◎水曜は予約制
★第2・4日曜午後は13:00〜16:00



「くろさわ脳外科画像診断クリニック」は2000年に多賀城市八幡で開業しました。2011年に起きた東日本大震災の津波では、MRIをはじめ医療機器が水没。しかし同年8月、縁あって塩竈市錦町に移転し再開業しました。翌年3月には1・5テスラMRIと低線量CTを設置し、検査を再開することができました。当時、多くの方からご支援と激励をいただいたことに感謝しています。

当院では頭痛・めまい・物忘れなど、脳の様々な症状や病気の診断・治療を行っています。また、

画像診断の専門性を活かして塩釜警察署協力医も勤めています。脳神経の疾患は早期発見が大変重要です。脳の検査は怖いと思われがちですが、MRIは無痛かつ安全に脳血管と脳の検査ができます。また、CTは比較的線量で、頭部から骨盤まで短時間での検査が可能です。頭痛やめまい、手足のしびれ、ふらつきなどの症状でお悩みの際はご相談ください。地域の皆さまが気軽に受診できるよう心がけ、万が一病気を発見した際は責任を持って専門病院にご紹介します。

震災被害に負けず、地域医療を支える黒沢先生。特に画像診断に関しては、CT、MRIを駆使して診療に当たっています。最近の画像診断の精度は目を見張るものがあり、一般診療になくてはならないツールとなりました。これからの良い地域連携を積み重ねていきたいと思っています。よろしくお願いします。

坂総合病院から